

福井大学 工学テニュアトラック教員 公募要領

本学では、若手教員の確保と教員組織のダイバーシティ化の促進を目的として新たなテニュアトラック制度を導入し、テニュアトラック教員の採用を行います。工学系部門を対象とするテニュアトラック教員の職位は助教、採用人数は1名となります。テニュアトラック教員はメンター教員のアドバイスを受けながら、工学系部門の受入予定の講座等において、もしくは独立して研究に従事します。

本学のテニュアトラック制度では、テニュアトラック教員全員分のテニュアポストを用意しており、公正な業績評価に基づいたテニュア審査を実現します。また、テニュアトラック教員のライフイベントに伴う任期延長制度の整備や部門の枠を越えた育成策などの全学的対応を実施します。

【工学系重点領域推進特区の概要】

本学では、若手研究者の育成のみならず教員の多様化を推進することを目的として、学長を本部長とする「テニュアトラック推進本部」の下に「工学系重点領域推進特区」を設置し、意欲ある若手研究者や多様性を持った研究者を採用し、工学系部門の下、福井大学が福大ビジョン 2040 (https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/about/fukudaivision2040/) で掲げるテーマを中心に研究を推進していきます。

任期は5年間で4年目終了時に実施するテニュア審査で適格と認められたテニュアトラック教員は、福井大学の講師又は准教授として採用されます。なお、雇用開始後原則としてテニュアトラック期間の2分の1を経過した日から6月を経過する日までに中間評価を実施します。

1. 募集職種・人員

テニュアトラック教員（テニュアトラック助教） 1名

2. 募集分野及び採用審査基準

<募集分野>

以下のいずれかの研究分野に取り組む方を募集します。（）内はテニュア取得後の予定所属講座と主な担当学科。

- ・有機化学分野（生物応用化学講座，物質・生命化学科）
有機合成化学，有機光化学，生物有機化学
 - ・分子科学分野（物理工学講座，応用物理学科）
電気化学，物理化学，界面物理化学
 - ・繊維先端工学分野（繊維先端工学講座，物質・生命化学科）
医工学材料，生体工学，バイオファブリケーション
 - ・原子力安全工学分野（原子力安全工学講座，機械・システム工学科）
原子力安全に関わる分野：原子炉物理，原子炉制御，構造工学，材料科学，熱流動
- ※講座や学科の詳細については、福井大学工学部・工学研究科のホームページでご確認ください。

<https://www.eng.u-fukui.ac.jp/>

<採用審査基準について>

博士の学位を有し（取得見込みを含む）、研究経験年数が2年以上、教育研究業績数が3件以上の条件を満たす方を対象とし、教育研究業績（学術論文、学会発表、登録特許等）および研究資金の獲得状況等から、上記研究分野における今後の活躍が期待できること。

3. 応募資格

着任時に博士号取得後10年以内（着任時に博士号取得見込みの者も含む、産休・育休期間を除外する）であり、上記の研究分野で独創的かつ革新的な研究を推進する強い意欲を持つ若手研究者を対象とします。なお、ダイバーシティ推進の観点から、女性研究者や外国人研究者などの応募を推奨します。

4. 応募書類

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| (1) 履歴書 | 1部（別記様式1） |
| (2) 教育研究業績等一覧（採択済み印刷前を含む） | 1部（別記様式2） |
| ① 学術論文 | |
| ② 教育論文 | |
| ③ 国際会議論文（審査付論文） | |
| ④ 特許（登録済のもの） | |
| ⑤ 専門著書，教科書 | |
| ⑥ 学位論文（論文題目，大学名，年） | |
| ⑦ 国際会議論文（論文審査なし，アブストラクトだけの審査のものを含む） | |
| ⑧ その他の業績（学会活動や社会貢献活動等における委員等） | |
| ⑨ 外部資金の獲得状況 | |
| (3) 論文別刷 主要なもの3編 | 各1部（コピー可） |
| (4) 希望する研究分野と研究の抱負（A4版1枚程度2000字以内） | 1部（任意様式） |
| (5) 教育の抱負（A4版1枚程度2000字以内） | 1部（任意様式） |
| (6) 参考意見を伺える方の氏名と連絡先（任意，2名以内） | 1部（任意様式） |

※上記(4)・(5)に関して、国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標（SDGs）への貢献についても記述してください。

※教育研究業績等一覧に記載した①「学術論文」と③「国際会議論文（審査付論文）」については、全論文のPDFを準備してください。これらのPDFを含む全ての応募書類について、USBメモリーやCD等で電子データも同封してください。

5. 応募期限

令和4年4月1日（金）必着

6. 応募書類提出先

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

福井大学テニユアトラック推進本部長 上田孝典

封筒に「工学系重点領域テニユアトラック教員応募書類在中」と朱書の上、簡易書留でお送りください。

7. 問い合わせ先

福井大学研究・地域連携推進部 研究推進課 研究総務担当

TEL: 0776-27-8016, Email: rp-sinkou@ml.u-fukui.ac.jp

8. 選考について

書類選考の後、面接を行います。模擬授業等を含む面接の詳細については書類選考通過時にお知らせします。また、面接候補者には追加資料の提出を依頼することがあります。

9. 採用予定日

令和4年度：令和4年10月1日

10. 雇用条件等

(1) 給与・保険など

国立大学法人福井大学職員就業規則に基づき、本人の経歴等を勘案の上、本学の助教と同等の待遇で処遇します。

(2) 任期

5年間（令和9年9月30日まで）

(3) 研究評価・テニュア教員への採用

原則としてテニュアトラック期間が終了する10月前までにテニュアの付与審査を行います。優れた業績を挙げるなどテニュア審査基準に基づく所定の審査を通過した場合、テニュアトラック教員は、福井大学学術研究院工学系部門の専任の講師又は准教授となります。給与体系については、年俸制となります。採用後の所属は、原則として工学系部門となります。

なお、工学テニュアトラックにおけるテニュア審査基準は別紙のとおりであり、加えて、研究の発展性、人格、指導能力及び学会における活動等を総合して審査します。

(4) 研究体制

テニュアトラック教員のための研究スペースを確保します。また、メンター教員を配置して、支援します。

(5) 主な職務

- 1) 採用時に提出した研究計画書に基づく研究活動
- 2) 研究論文の公表
- 3) 国際会議を含む学術講演会での発表
- 4) 競争的外部資金への積極的な応募
- 5) 研究分野に関連する学部・大学院授業の一部を担当
- 6) その他、本学のテニュアトラック運営委員会委員長が必要と認めた業務

(6) 勤務条件及び生活支援

- 1) 国立大学法人福井大学職員就業規則に基づく勤務形態となります。

なお、育児、介護等のライフイベントに際しては、同規則により、育児休業、介護休業の取得ができます。

- 2) 職務で発生した発明等については、国立大学法人福井大学職務発明規則に基づき知的財産権は

本学帰属になります。

〈付記〉

- 提出書類に記載された個人情報は、「国立大学法人福井大学の保有する個人情報の保護に関する規則」の規定に基づき適正に管理を行い、今回の採用人事以外の目的には使用いたしません。
- 福井大学の定年は 65 才です。
- 本学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績，教育業績，社会的貢献，人物を含む）の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。

工学テニユアトラックにおけるテニユア審査基準

1. 共通の選考基準

募集分野を問わず、共通の選考基準は下記のとおりとする。

記

職名	要件	学位称号	経験年数		教育研究業績
			教育	研究	
准教授		博士	3年以上	7年以上	8件以上
講師		博士		5年以上	5件以上

- (注) 1. 経験年数の算定は、大学卒業後の年数を基準とする。
 2. 経験年数は教育歴又は研究歴いずれか一方を満たさなければならない。
 3. 教育研究業績には次に掲げる業績を含める。ただし、基準数の半数以上は学術論文でなければならない。
 (1) 学術論文(レフェリーシステムの確立した学術誌等に掲載又は掲載決定された論文、掲載決定段階のものについては掲載決定通知書等を添付)
 (2) 教育論文(レフェリーシステムの確立した教育関係誌等に掲載又は掲載決定された論文、掲載決定段階のものについては掲載決定通知書等を添付)
 (3) 国際会議論文(レフェリー審査のあった論文、論文審査のあったことを示す資料を添付)
 (4) 作品(建築作品・計画、ソフトウェア等で受賞したもの、雑誌紹介などを通して評価の確定されているもの、又は公共性の高いもの)
 (5) 特許(基本・実用特許で登録済のもの)
 (6) 専門著書、教科書(単名又はそれぞれに準ずるもので高く評価されたもの)
 4. 原則としてテニユアトラック教員の任期中に発表した教育研究業績3件以上を含むものとする。
 5. 上記基準と同等以上であると工学テニユアトラック採用・評価委員会が認めた者については、テニユア付与審査に係る被選考者とするすることができる。

2. 各分野の教員選考基準

有機化学分野及び繊維先端工学分野においては、上記1の選考基準に加え、以下のとおり各分野における選考基準を満たすものとする。

(1) 有機化学分野

以下の基準は有機化学分野におけるテニユア審査に係る教育研究業績の目安を示したものである。教育研究上の能力、経験、識見が十分にあると認められる者については、この基準を満たさない場合でも、被選考者として推薦できるものとする。

[准教授]

1. 教育研究業績が18件以上あること。
2. 学術論文以外の教育研究業績には登録済特許等を3件まで含めることができる。
3. テニユアトラック教員の任期中に学術論文が5編以上あること。

[講師]

1. 教育研究業績が7件以上あること。
2. 学術論文以外の教育研究業績には登録済特許等を2件まで含めることができる。
3. テニユアトラック教員の任期中に学術論文が3編以上あること。

(2) 繊維先端工学分野

繊維先端工学分野におけるテニユア審査に係る教育研究業績の基準は、次のとおりとする。教育研究上の能力、経験、識見が十分にあると認められる者については、この基準を満たさない場合

でも、被選考者として推薦できるものとする。

[准教授]

1. 教育研究業績が12件以上あること。
2. 学術論文以外の教育研究業績には、教育論文、審査付国際会議論文、登録済特許、専門著書、教科書を合計3件まで含めることができる。
3. テニユアトラック教員の任期中に学術論文が3編以上あること。

[講師]

1. 教育研究業績が5件以上あること。
2. 学術論文以外の教育研究業績には審査付国際会議論文、登録済特許を合計2件まで含めることができる。
3. テニユアトラック教員の任期中に学術論文が3編以上あること。

(様式1)

履 歴 書

写真

(ふりがな)
氏 名

性 別
年 月 日生(才)

現 住 所

〇〇年 月 〇〇〇大学〇〇学部〇〇科 卒業 学 歴
(大学卒業から記載する)

〇〇年 月 博士 (〇学) の学位を授く (〇〇大学)

職 歴

学会並びに社会における活動

賞 罰

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名

(印)

(様式2)

教育研究業績等一覧

<記載要領：提出時には削除してください>

1. 全業績を分類に従って、それぞれ論文題目、執筆者、掲載学術誌等の順に、年代の古いものから順に記入してください。ただし、それぞれの分類において30件を超える場合は、代表的な業績30件以上を記載して一部を省略し、その他〇件（編）、合計〇〇件と記してください。
2. 論文業績については、レフェリーシステムの確立した学術誌等に掲載又は掲載決定された論文とし、掲載決定段階のものについては掲載決定通知書等を添付する。該当しない論文については、Ⅲのその他の教育研究業績に記載してください。
3. Ⅰの「学術論文」と「国際会議論文（審査付論文）」については、論文作成に対する貢献度（〇〇％）を記載してください。
4. Ⅰの「学術論文」「教育論文」「国際海外論文（審査付論文）」については、主要な業績3件の論文題目にアンダーラインを引いてください。
5. Ⅳの「外部資金の獲得状況」については、科学研究費補助金、その他の助成金等に分けて記載し、助成金額と担当（代表または分担）についても明記してください。
6. 分類のうち、該当がない業績欄は省略し、以下の項目番号を繰り上げてください。

I. 教育研究業績

1. 学術論文 ※貢献度（〇〇％）を記載のこと。

[1]

その他 編
計 編

2. 教育論文

[1]

その他 編
計 編

3. 国際会議論文（審査付論文） ※貢献度（〇〇％）を記載のこと。

[1]

その他 編
計 編

4. 作品

[1]

その他 編
計 編

5. 特許 (登録済のもの)

[1]

その他	編
計	編

6. 専門著書, 教科書

[1]

その他	編
計	編

教育研究業績合計 件 (内 学術論文 編)

II. 学位論文

III. その他の教育研究業績

1. 論文, 総説

[1]

その他	編
計	編

2. 国際会議論文 (論文審査なし)

[1]

その他	編
計	編

3. 著書

[1]

その他	編
計	編

4. 作品等

[1]

その他	編
計	編

IV. その他の業績

1. 学会活動・社会貢献等

2. 外部資金の獲得状況 ※助成金額と担当（代表または分担）を記載のこと。

2. 1 科学研究費補助金

[1]

2. 2 財団助成金, 奨学寄付金等

[1]